

つるし雛飾りづくり



織田家ゆかりの城下町「かいばら」（丹波市柏原町）では毎年3月に「丹波かいばら雛めぐり」を開催し、町内各会場に江戸時代から平成までの雛飾りを展示しています。

手作りの「つるし雛」を飾るのが最大の特色で、彩りを華やかに演出します。

「つるし雛」は江戸時代より、生まれてきた子どもの幸せを願い、思いを込めて縫い上げ、パーツを組み合わせて作ったものが始まりと言われています。

小さなパーツはひとつひとつ意味がある縁起ものです。



令和6年 1月27日(土) 午前の部 10:00-12:00
午後の部 14:00-16:00

丹波の森公苑 セミナー室（兵庫県丹波市柏原町柏原5600）

内容 布を縫って「鳩(はと)」を作り、梅の花のパーツを組み合わせて、つるし雛飾りを作ります。

鳩は「神の使い」「平和の象徴」といわれる縁起のよい鳥です。また、鳩はむせないことから、赤ちゃんがお乳をよく飲み、元気に成長しますようにという願いが込められています。

参加費 1,000円 ※材料費込み

定員 各回20名 ※先着順

持ち物 裁縫道具(針、はさみ、まち針、ピンセット)

主催者 つるし雛グループ 代表：荻野 真知子
仲間づくりを通じ、みんなで楽しくつるし雛を作る活動をしています。

申込方法 電話、FAX等で下記までお申込みください。

申込み・問合せ先

(公財)兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑管理課
〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600
TEL:0795-72-2127 FAX:0795-72-5164

※月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)は休苑日です



切り取り線

申込書【令和6年1月27日 つるし雛飾りづくり】

お名前		参加時間	○印をつけてください 午前の部 ・ 午後の部
ご住所		電話番号	

ご記入いただいた個人情報は、安全かつ厳重に管理します。なお、丹波の森公苑が行う事業の案内等に利用させていただくことがあります。

丹波の森公苑「生活創造活動グループサポート事業」を利用しています。